

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市生涯学習センター		担当課名	文化・スポーツ振興課	記入者職氏名	事務員 安村侑祐
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市生涯学習センター条例					
	(2) 施設設置目的	東遠地域住民の教育文化の向上並びに郷土を担う人材養成を通じた特色ある地域文化の育成及び創造を図る。					
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	ホール(収容人員1,069席 固定席645席、移動席424席)、第1～第4会議室(収容人員16～144人)、和室、料理室、工作室、担い手の部屋、ギャラリー、催物広場					
	(4) 施設建設年度	昭和58年度					
	(5) 耐震性能の有無	有					
	(6) 将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	空調設備改修(令和5年 約2,800万円)			屋外キュービクル改修(令和7年頃 約5,000万円)		
		トイレ改修(令和7年以降 約2,000万円)					
		屋外防水改修(令和7年以降 約6,000万円)					
	(7) 指定管理者名	株式会社 SBSプロモーション					
	(8) 指定期間	令和2年 4月1日 から 令和7年 3月31日 まで					
	(9) 債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし    ※設定ありの場合、(期間 令和2年度 ～ 令和6年度 ) (限度額 749,000 千円)					
	(10)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度					
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和 年度)						

区分			R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	160,000	100,000	65,000	80,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	72,015	62,671	95,595		
	内訳 (施設・設備ごと)	ホール	32,310	18,951	40,365		
		リハーサル室	1,058	1,196	1,862		
		第1会議室	1,742	1,298	1,423		
		第2会議室	4,356	4,492	5,511		
		第3会議室	3,994	4,666	4,961		
		第4会議室	10,213	11,404	17,987		
		料理室	695	450	609		
		和室	2,004	2,065	2,226		
		工作室	1,609	2,334	2,037		
		催物広場	2,193	2,863	5,891		
		ギャラリー	2,072	2,900	3,767		
		その他	5,025	3,691	2,027		
		担い手の部屋	4,744	6,361	6,929		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	ホール (定員1,069人)	A平日昼間	32.8%	22.5%	27.40%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			B平日夜間	39.2%	25.4%	35.80%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			C土日祝昼間	43.5%	40.7%	63.40%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			D土日祝夜間	25.9%	18.8%	37.90%	(利用回数÷使用可能日数×100)
		リハーサル室 (定員無し)	A平日昼間	33.9%	27.8%	32.40%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			B平日夜間	23.1%	19.6%	37.90%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			C土日祝昼間	27.8%	30.3%	49.60%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			D土日祝夜間	24.1%	34.3%	29.30%	(利用回数÷使用可能日数×100)
		第1会議室 (定員16人)	A平日昼間	52.0%	20.1%	55.60%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			B平日夜間	28.0%	35.5%	25.30%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			C土日祝昼間	31.5%	35.0%	45.70%	(利用回数÷使用可能日数×100)
			D土日祝夜間	10.2%	8.5%	24.10%	(利用回数÷使用可能日数×100)

(施設・設備)	第2会議室 (定員43人)	A平日昼間	66.8%	50.0%	57.10%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		B平日夜間	53.8%	48.7%	75.30%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		C土日祝昼間	51.9%	52.1%	58.60%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		D土日祝夜間	17.6%	162.0%	29.30%		(利用回数÷使用可能日数×100)
	第3会議室 (定員43人)	A平日昼間	63.3%	51.0%	55.40%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		B平日夜間	48.4%	56.5%	57.90%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		C土日祝昼間	47.2%	45.7%	55.60%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		D土日祝夜間	10.2%	12.0%	20.70%		(利用回数÷使用可能日数×100)
	第4会議室 (定員144人)	A平日昼間	39.3%	32.0%	47.70%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		B平日夜間	44.6%	51.3%	60.50%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		C土日祝昼間	33.3%	34.6%	50.90%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		D土日祝夜間	42.6%	43.6%	75.00%		(利用回数÷使用可能日数×100)
	料理室 (定員25人)	A平日昼間	17.0%	5.4%	7.10%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		B平日夜間	1.1%	2.1%	3.70%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		C土日祝昼間	17.6%	12.8%	19.80%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		D土日祝夜間	2.8%	0.0%	6.90%		(利用回数÷使用可能日数×100)
	和室 (定員40人)	A平日昼間	49.3%	37.9%	41.50%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		B平日夜間	4.8%	7.4%	17.40%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		C土日祝昼間	19.4%	23.5%	35.30%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		D土日祝夜間	13.9%	15.4%	19.00%		(利用回数÷使用可能日数×100)
	工作室 (定員30人)	A平日昼間	34.9%	28.7%	28.20%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		B平日夜間	29.6%	22.2%	24.20%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		C土日祝昼間	28.7%	35.5%	35.80%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		D土日祝夜間	1.9%	1.7%	16.40%		(利用回数÷使用可能日数×100)
	催事広場 (定員無し)	A平日昼間	19.2%	4.4%	6.20%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		B平日夜間	22.0%	2.1%	4.70%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		C土日祝昼間	26.9%	7.7%	20.30%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		D土日祝夜間	21.3%	1.7%	10.30%		(利用回数÷使用可能日数×100)

2 利用状況	(施設・設備ごと)	ギャラリー (定員無し)	A平日昼間	28.4%	18.8%	27.40%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			B平日夜間	11.8%	24.3%	45.30%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			C土日祝昼間	18.5%	23.1%	40.10%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			D土日祝夜間	13.0%	14.5%	26.70%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		その他 (定員無し)	A平日昼間	21.8%	36.8%	6.20%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			B平日夜間	1.1%	3.2%	2.10%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			C土日祝昼間	4.6%	44.4%	19.00%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			D土日祝夜間	13.0%	0.0%	3.40%		(利用回数÷使用可能日数×100)
		担い手の部屋 (定員無し)	A平日昼間	12.7%	12.9%	13.30%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			B平日夜間	3.2%	20.1%	15.80%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			C土日祝昼間	11.1%	19.1%	22.00%		(利用回数÷使用可能日数×100)
			D土日祝夜間	14.8%	11.6%	13.80%		(利用回数÷使用可能日数×100)
区分			R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		666	747	454			
	(3)運営日数		337	357	357	357		
	(4)運営人員	①正規職員	4.0	3.0	4.0	5.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	2.0	5.0	4.0	3.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	31,225,771	30,985,236	29,245,160	32,150,000	
	②印刷費	705,714	273,882	271,859	290,000	
	③通信費	388,957	378,774	366,173	400,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	809,117	699,442	991,854	500,000	
	⑤借上料	1,375,820	1,335,840	1,335,840	1,300,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	0	0	283,970	200,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	13,441,494	13,160,175	10,941,878	7,000,000	
	計	47,946,873	46,833,349	43,436,734	41,840,000	
	対前年度増減率	88.6	△ 2.3	△ 7.3	△ 3.7	
区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	28,016,581	28,413,440	30,278,887	29,760,000	
	消防設備保守点検	1,528,800	1,526,800	1,471,800	1,530,000	
	警備保障業務	408,200	409,200	409,200	430,000	
	電気工作物保守点検	540,120	615,120	670,120	700,000	
	空調設備保守点検	2,090,000	2,242,900	2,090,000	2,100,000	
	館内清掃業務	5,035,361	5,507,700	5,374,600	5,700,000	
	舞台操作管理業務	11,799,500	12,265,000	12,595,000	12,300,000	
	その他	6,614,600	5,846,720	7,668,167	7,000,000	
	②修繕費	888,715	1,467,315	2,533,667	1,500,000	
	③光熱水費	10,783,359	11,564,882	16,700,723	16,000,000	
	④燃料費	0	0	74,767	90,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	339,450	92,084	132,104	200,000	
	計	40,028,105	41,537,721	49,720,148	47,550,000	
	対前年度増減率	△ 24.6	3.8	19.7	△ 4.4	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		87,974,978	88,371,070	93,156,882	89,390,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		54.5	53.0	46.6	46.8	

(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	21,232,444	16,666,555	23,515,700		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	44.3	35.6	54.1		

Ⅲ 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設利用料金収入	21,232,444	16,666,555	23,515,700	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( a－トータルコスト)	△ 66,742,534	△ 71,704,515	△ 69,641,182	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	75,000,000	74,900,000	74,800,000	

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 自主事業の収入	552,530	346,800	2,228,820	
b) 自主事業の支出	2,400,000	1,966,915	5,584,657	
収支差額 a)－b)	△ 1,847,470	△ 1,620,115	△ 3,355,837	
c) その他事業の収入	0	5,414,800		
d) その他事業の支出	0	0		
収支差額 c)－d)	0	5,414,800	0	

#### IV 担当課による評価

##### (1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

##### (2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%	91%	3	
B サービス内容の満足度	90%	89%	2	【達成できていない点・主な課題】 ・ 施設(躯体)や設備の老朽化が進行している 【いつまでに、どのように対応するか】 ・ 今年度中に、インターロッキングブロックの劣化に対する対応方針や空調機の短期修繕計画を策定(検討)する。
C 従業員対応の満足度	90%	96%	3	
D 施設安全対策の満足度	90%	93%	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%	83%	2	【達成できていない点・主な課題】 ・ 設備の老朽化が進行している。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・ 施設内の空調機については、3力年から5力年の短期修繕計画に基づき今年度以降施工を予定している。
F 施設の利用者数	65,000人	95,595人	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	<b>【達成できていない点・主な課題】</b> ・ コロナ禍で、制限を設けていたため。 <b>【いつまでにどのように対応するか】</b> ・ 感染拡大防止対策を行いながら、状況を鑑み、制限なしで行うようにする。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	<b>【達成できていない点・主な課題】</b> ・ 施設(躯体)の老朽化が進行している。 <b>【いつまでに、どのように対応するか】</b> ・ インターロッキングブロックの凹凸や劣化が激しいため、今年度中に対応方針を検討する。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

27

／33

V その他自由意見

--